

授業科目名 <英訳>		医療倫理学各論 Practicum for Clinical Genetics			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 小杉 眞司				
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2016・ 後期	曜時限	金5・6：開講日注意	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
<p>【基本情報】 授業日時：金曜5/6限（原則隔週） 教室：G棟3階演習室 レベル：応用 担当者：小杉眞司・和田敬仁・三宅秀彦・倉田真由美・竹之内沙弥香（人間健康科学系専攻）・山崎康仕（神戸大学）・浅井篤（東北大学）</p> <p>【コースの概要】 医療技術の進展にともなって生じる臨床上的問題、臨床研究実施上の問題の検討を行う。「自ら問題を考え、解決の方策を探り、臨床で実践する能力」を身につけ、実践行動型の医療者となることを目標とする</p>											
[到達目標]											
1)医療倫理学の基礎を理解する ・医療倫理学の背景、医師患者関係の変容、患者の権利や医師の義務を理解する 2)倫理的問題の対処方法を習得する ・問題の存在を認識し、考える枠組みを使って実際の問題を検討する ・議論を通じて解決の道筋をたてる ・臨床での実践方法を考える											
[授業計画と内容]											
<p>【第1/2回】 10/14<小杉>「倫理委員会・移植医療と倫理」倫理審査委員会の歴史、現状、法的根拠、組織。生体肝移植を中心とする倫理について実例に基づいて考える</p> <p>【第3/4回】 10/21<倉田>「ヒト由来試料の研究利用と倫理」バイオバンクやヒトゲノム解析など、人から採取した試料を研究利用する際の倫理的問題について考える</p> <p>【第5/6回】 11/4<山崎>「法と倫理」道徳・倫理・法の関係、自然法論と法実証主義などについて総合的に考える</p> <p>【第7/8回】 11/18<和田>「小児科医療と倫理」小児医療における代諾、重症障害新生児の治療、治療拒否と虐待などの問題点について考える</p> <p>【第9/10回】 12/2<浅井>「医療資源配分の問題」</p> <p>【第11/12回】 1/6<三宅>「産婦人科医療と倫理」産婦人科では、胚や胎児を対象とするために生じる倫理問題が存在する。これらの幅広い倫理的課題について考える</p> <p>【第13/14回】 1/20<竹之内>「終末期医療」治療の中止、延命治療、安楽死、尊厳死、高齢者医療、DNRオーダー、事前指示、医学的無益性などについて考える</p> <p>【第15/16回】 2/3<小杉>「自主研究発表」履修院生による自己テーマについての研究発表</p>											
----- 医療倫理学各論(2)へ続く ↓↓↓ -----											

医療倫理学各論(2)

[履修要件]

遺伝カウンセラーコース1回生必修科目
SPH選択科目
先修科目として「基礎医療倫理学」の履修を原則とする
人間健康科学系専攻学生の受講可否：要事前連絡

[成績評価の方法・観点及び達成度]

研究発表、議論への参加の積極性、レポート、出席等を総合的に判定します。
自主研究発表(最後に実施)：医療倫理に関するどのようなテーマでも良いので、自ら問題点を探し、それについて調べたり、検討した結果を発表し、全体でディスカッションします。割り当て時間（発表+ディスカッション）は、発表者の数に依存しますが、15-20分程度です。（原則としてパワーポイントを用いて発表し、ハンドアウト配布もお願いします）。他の専攻や研究科からの受講の場合も必須です。

[教科書]

配布するハンドアウトなど

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習（予習・復習）等]

(その他（オフィスアワー等）)

その他メッセージ
事例検討は、ビデオ、漫画を用いることがあります
講義日程、講師、内容については、多少の変更がある可能性があります
かならず、正式な受講届を提出すること。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。